

いけせい TIMES

特別号
May 2025

いけせい

だらり座談会



2024年度の最後に「だらり座談会」を開催しました。当日は中高生から大学生世代の若者17名が集まり、「1日センター長になったら」「いけせいで楽しかったこと!」「来年度やってみたいこと」など、のんびりと話し合いました。

いけせいで楽しかったこと!

- ・ソーラン節踊ったこと
- ・ダンスの振りづくり
- ・ずーっと踊ったこと!
- ・9時間ずっとボードゲーム
- ・麻雀 ・いけせいでお泊まり
- ・同じ高校の友達とテスト勉強最後まであがいたコト!!

1日センター長になったら

- ・動物園にする ・バスケット大会
- ・筋トレ大会 ・eスポーツ大会
- ・館内にいる人全員でボードゲーム
- ・勉強を教え合おうの会
- ・武道体験(雑刀イチオシ!)



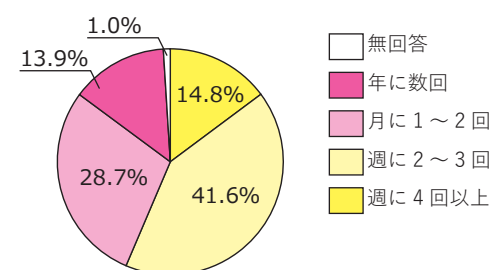
2025年度 やってみたいこと

- ・エフェクターを購入してほしい
- ・ビジネス会議をする
- ・体操をやってみたい
- ・パーマをかける(でかめ・ゆるめ)
- ・レトロゲームをやりたい
- ・青年文化祭でフランクフルトを売りたい
- ・免許を取る
- ・バンジージャンプ
- ・SATの勉強
- ・バイト
- ・いけせいで餅つきしたい

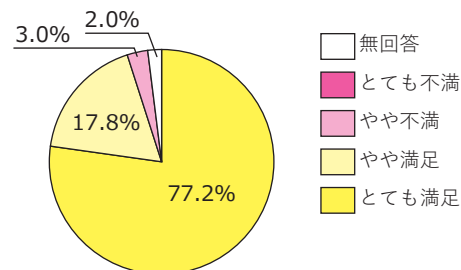
2024年度利用者アンケート

2024年12月21日～2025年1月9日(12月29日～1月3日を除く14日間)にアンケートを行いました。回答数は101人でした。結果の一部を紹介します。

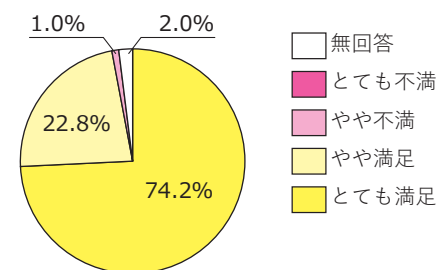
Q. いけせいをどのくらい利用していますか?



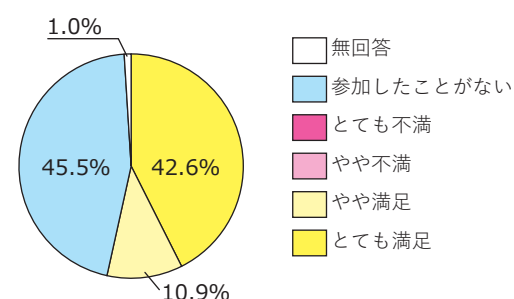
Q. いけせいの設備や備品(本・楽器・遊具など)に満足していますか?



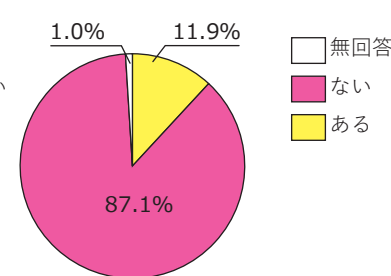
Q. いけせいのスタッフについてどう思いますか?



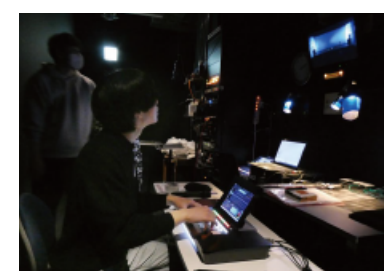
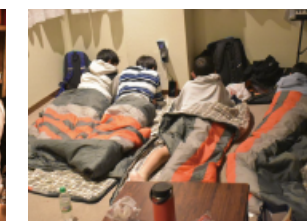
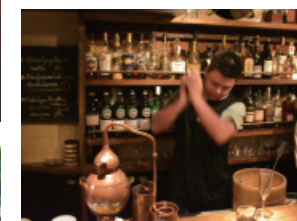
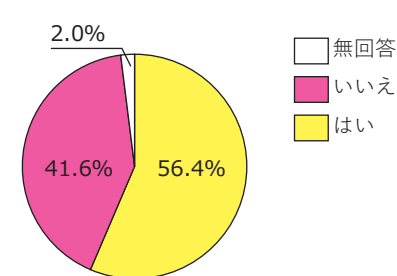
Q. いけせいのプログラムやイベントに満足していますか?



Q. いけせいで自分のやりたいことを提案したことはありますか?(プログラムやイベントの企画を含む)



Q. いけせいがきっかけで新しい友だちができた、年齢や学校等が違ふ人と遊ぶことや話したりすることはありましたか?



1人ひとりの声を大切に

2024年度はこれまで実施してきた活動が、若者の声によってさらに豊かな広がりを見せた1年となりました。だらりトーク(若者運営委員会)では、中学～大学生世代がいけせいに宿泊し、やりたいことで構成されたクリスマス・キャンプを実現させました。また、ダンスフェスティバル SETAGAYAでは、前年度に出演者から挙がった「自分たちで照明をやりたい」の実現へ向け、照明技術者から操作方法や演出のコツを学ぶワークショップを開催し、出演者の若者が主体的に携わる機会を設けました。活動を振り返ると、若者が声を発するためには、日々の対話の中で若者から聴き取った声を、スピーディーに反

映させ続けることが大切だと感じます。自分の声が影響力を持つという実感が若者の気持ちを後押しするのではないのでしょうか。令和7年4月に施行された「世田谷区子どもの権利条例」、その理念を実現するために策定された「世田谷区子ども・若者総合計画(第3期)」では、当事者である子ども・若者の声を聴く場が多く設けられています。いけせいは引き続き、ありのままに過ごせる居場所を土台に、1人ひとりがいろいろな形で声を発せられる環境を、若者とともにつくっていきます。





2代目公式キャラクター
「イケセイウチ」

図表で見る

いせい

2023年11月
の投票によって選ばれ
2024年から活動中！
オリジナル缶バッジ
もできたよ♪



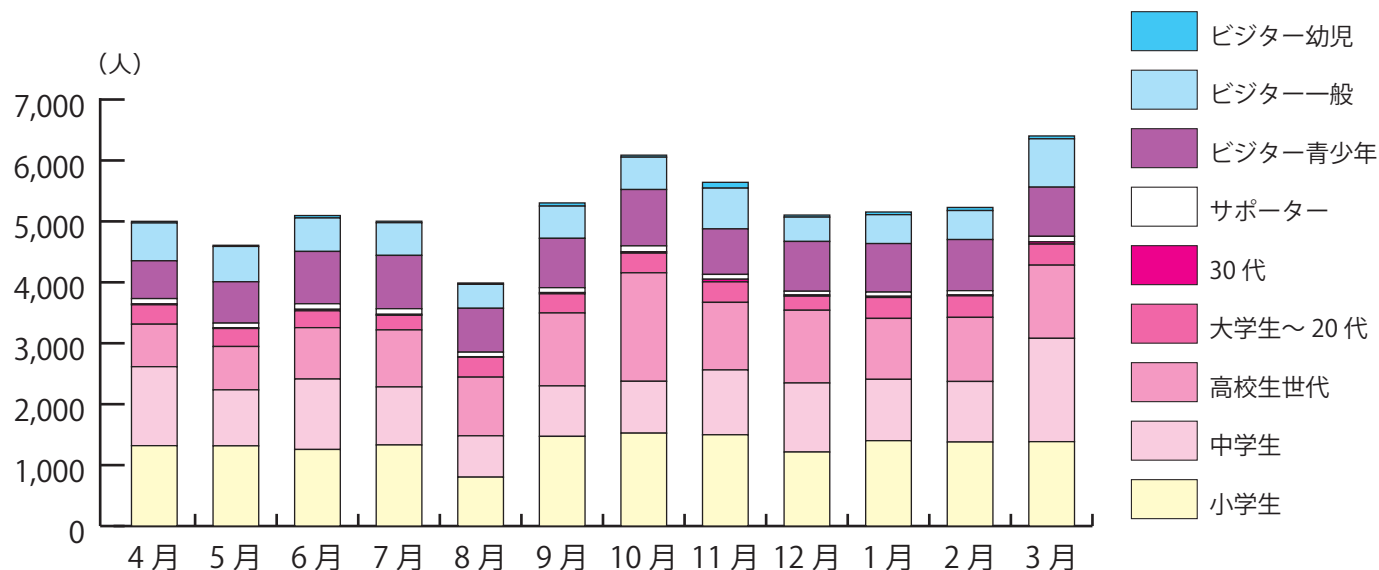
2024年 4月 - 2025年 3月



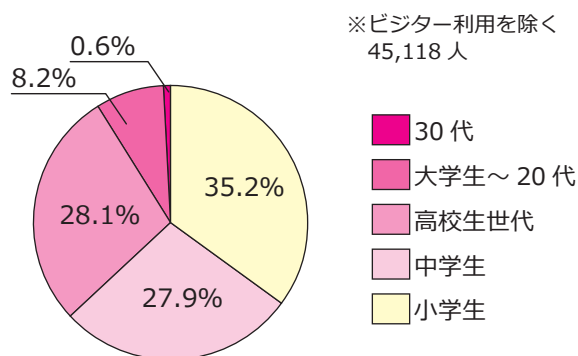
数字で見るのも
面白いね!!

1. 月別のべ利用者の推移

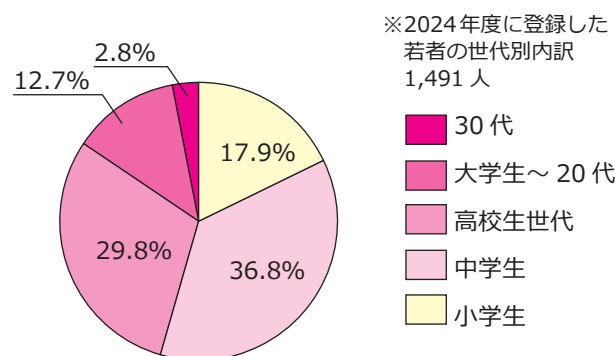
年間のべ利用者数 62,617 人（前年度 52,670 人）



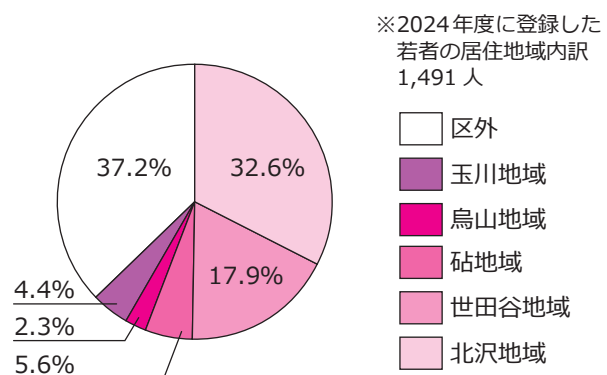
2. 利用者の世代別内訳



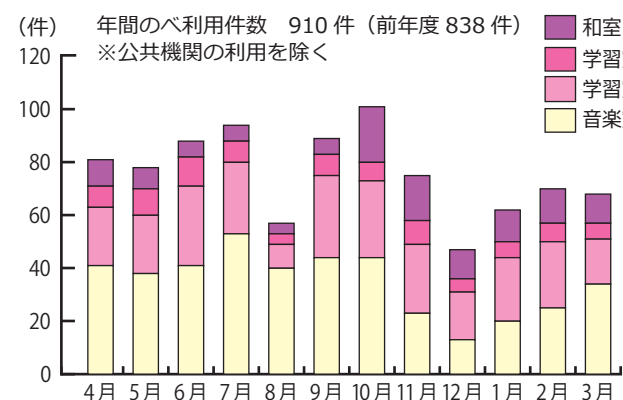
3. 新規登録者の世代別内訳



4. 新規登録者の居住地域



5. 音楽室・学習室Ⅰ・Ⅱ・和室の利用件数



6. 学校別登録者数

※2024年度の新規登録者のうち、登録者数の多い学校と登録者数

区分	学校名	登録者数
小学校	池之上	67
	多聞	66
	代沢	53
	下北沢	25
	和光	6
中学校	駒場東邦	126
	筑波大附属駒場	110
	富士	38
	三宿	30
	梅丘	21

区分	学校名	登録者数
高等学校	筑波大附属駒場	111
	駒場東邦	95
	駒場学園	48
	都立松原	17
	世田谷学園	15
大学 専門学校	東京	32
	日本	9
	東京農業	7
	成蹊	5
	国士舘	5
	駒澤	4

7. 若者の主体的な活動（抜粋）

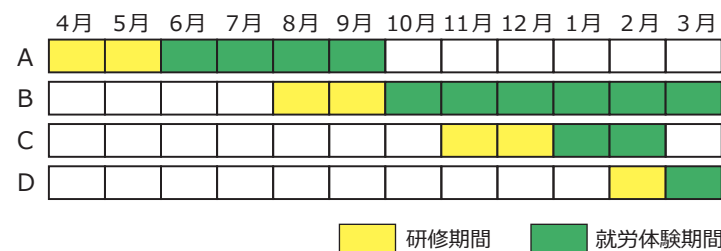
※出店者・出演者・スタッフなどの若者の参加人数

プロジェクト	開催月	参加人数
若者運営委員会「だらりトーク」(12回)	通年	123人
だらり座談会	3月	17人
若者企画 道楽茶道部 (4回)	通年	37人
若者企画 カレーパーティー	7月	13人
若者企画 いけせい若者対バンライブ	8月	15人
若者企画 組み紐ワークショップ	2月	15人
若者企画 富士中学校 3年卒業ダンス公演	3月	6人
チャレンジ・アクション e-スポーツ大会 青龍杯	5月	27人
チャレンジ・アクション basketball 3on3 大会	5月	18人

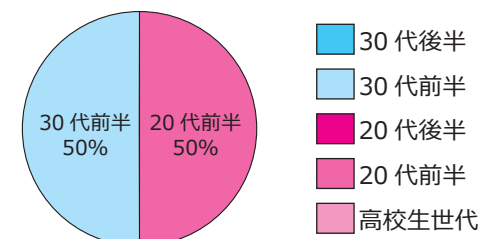
プロジェクト	開催月	参加人数
チャレンジ・アクション 遊んで楽しい ウォータースブラッシュマウンテン	8月	17人
ゴーゴーリーダーズ egg (13回)	通年	133人
インターン・チャレンジ (4回)	通年	50人
クリエイターワーク (5回)	通年	41人
THE BOSAI (4回)	通年	63人
階段ギャラリー展示 (4回)	通年	20人
青年文化祭※	11月	87人
照明ワークショップ	2月	12人
ダンスフェスティバル SETAGAYA※	3月	199人

8. P-work 参加状況

※就労体験・就労支援プログラム「P-work」では、1カ月の研修後、
駄菓子などを販売する売店の運営を行った。



9. P-work 参加者の内訳



10. P-work 参加者の就業率

25%